備前市事務事業評価シート

（平成21年度事業）

事業の概要					
事業開始年度		昭和46年度以前		根拠法令・例規等	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律
総合計画	大項目	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり	問合先 担当課（室）：農林水産課
	中項目	基本施策	03	災害に強いまちづくり	職・氏名：耕地治山係長　藤森　亨
	小項目	施　策	03	海岸整備	電　話：0869-64-1830
事務事業名			01	海岸施設管理事業	このシート作成に要した時間：5.0 時間

事業の目的	
対　象（誰・何に対して）	備前市内農林海岸保全区域内の市民及び農地
目　的（何のために）	津波、高潮、波浪、その他海水による被害から市民及び農地を保全する。
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	農林海岸施設を整備することにより津波、高潮、波浪、その他海水による農地の浸水被害を防ぐ。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
県営農林海岸施設整備事業	海岸法に基づき海岸保全区域に指定されている海岸について、岡山県が護岸等を整備又は維持補修し、事業費の1/3を市が負担し、事業が円滑にすすむように地元調整を行う。	◎
海岸施設管理委託料	海岸保全区域内の堤防の草刈りを行う。	○

事業費等		単位	平成19年度実績		平成20年度実績		平成21年度実績	
決算額 事業費	直接事業費	千円		5,145		2,264		8,287
	必要人員　人件費		0.04人	282	0.07人	563	0.05人	439
	事業費計			5,427		2,827		8,726
財源	国県支出金	千円		100		100		100
	受益者負担							
	繰入金							
	市債							
	その他（　）							
	一般財源			5,327		2,727		8,626
受益者負担比率		%		－		－		－

結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	樋門堤防修理	説明	岡山県管理の農林海岸の補修延長		
	結果指標量	事業	96	20	68
	対前年比	%	－	20.5%	344.2%
	活動コスト	円	4,975,000	2,488,000	8,501,000
	単位当たりコスト		51,769	126,294	125,383

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業の成果

成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
樋門堤防の補修延長（単位：m）	目標値（A）	96.1	19.7	35.2	55.6
	実績値（B）	96.1	19.7	77.8	到達目標値
	達成率（B/A）	100.00%	100.00%	221.02%	無し

成果指標設定の考え方・式や説明

本事業は、維持管理的なものであり、その都度必要が生じた箇所について対応しているものが主なものであるため、目標設定はできない。しかし、岡山県営事業で平成17年から平成22年度まで６ヶ年で事業を実施しているため、それぞれの年度ごとの事業費を成果としている。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい

事務事業の評価

妥当性の評価

- 市の関与の妥当性
  - ☐ 市が実施するよう法令で義務づけられている
  - ☐ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
  - ☐ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
  - ☐ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- 必要性
  - ☐ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
  - ☑ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
  - ☐ 事業開始当初の目的から変化してきている
  - ☐ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
  - ☑ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある
- 市民ニーズ
  - ☑ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価 <A～E>：**B**

効率性の評価

- コスト
  - ☑ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
  - ☐ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
  - ☐ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
  - ☑ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- 手段
  - ☐ 受益者負担率は適正である
  - ☐ 受益者負担率を見直す余地がある
  - ☐ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
  - ☐ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
  - ☐ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価 <A～E>：**C**

有効性の評価

- 目的達成度
  - ☑ 成果指標の設定は適切である
  - ☑ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
  - ☑ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
  - ☐ 成果指標達成率は80%未満となっている
  - ☐ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
- 市民参画度
  - ☐ 法定事務 ・ 内部管理事務　であり成果は求めにくい
  - ☐ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
  - ☐ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価 <A～E>：**B**

進行年度（H22年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

説明：平成22年度は、中山間地域等生活・交流基盤整備推進事業で鶴海海岸の護岸を５５．６m整備する。また、例年どおり穂浪海岸の草刈りを行う。

総合評価

農林海岸背後地の保全のため、必要な事業である。経年により保全対象の農地が宅地化されてきているが、近年の台風、高潮に対応できるよう整備必要箇所を検討し、整備が進んでおり、鶴海海岸は、22年度で完了予定である。

評価区分 <A～E>：**B**

平成23年度の方向性 及び 取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

取組目標：平成23年度以降は、地元関係者と協議を密に行い、随時、補修、整備の必要が生じた箇所について岡山県に要望していく。